



柝の木からの手紙

2015年 10月号



春先より何故か半月・ひと月も季節が進んでいる、ずれている感じながら進めていた農作業。芋の収穫出荷作業も例年より早くに終わり、自然農法では、大豆の収穫を、慣行農法ではビートの収穫を待つばかり。

写真は自然農法の黒大豆ですが、昨年より生育がひと月近く進んでいる様に見えます。芋も、生育が早まりました。でも、旧暦では、まだまだ9月なんです。また、黒大豆でも品種の違いで生育の早さが違う事がはっきりと判ります。左が「北海道黒大豆」・右が「黒い瞳」。

10月 神無月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8日：寒露

10日：これからの医療とまちづくり シンポジウム
札幌市民ホール

13日：新月 旧 9月 1日

24日：霜降

27日：満月 旧 9月 15日

9月27日 「お花による癒し」セミナーが行われました。

実行委員会を立ち上げて準備を進めたセミナー。30名の参加者の3分の1は一般の方。地域社会に生活の中に花を取り入れる事の良さを伝え、健康・幸せを広めて行く素晴らしい活動でした。そして何よりも、多くの方が積極的に準備等の仕事に携わる事が出来た事がこれからの活動の在り方の手本になるようなセミナーでした。



自然農法の芋畑。枯れた1株の芋の周囲には、これ程の雑草が生い茂っています。今年は培土による除草を段階的に3回行い最終は6月28日。それ以降は手で取るしかありません。8月中旬に茎葉処理を行うまでの間は、雑草の天国です。でも、茎葉処理をして芋は枯れてしまいましたが、雑草は、短くなるだけで今まで以上に成長してきます。

芋の収穫前、再度茎葉処理をして、雑草を短くしてから収穫作業をしました。それでも、雑草の根は機械に詰まり収穫の邪魔をします。雑草との戦い。来年は、どんな手立てを打とうか？

先月号でひまわりの名前を間違えました。

ピスタチオでなくて「ピノチオゴールド」でした。ごめんなさい。